



号外

# 守山消防新聞



## 守山区内火災増加中！

### 〔傾向〕

守山区では令和四年中において、火災が増加しており、**四九件**と、令和三年中の三七件を一二件も超えて、**市内ワースト二位**となっている。更に火災による被害死は**四名**となっており、**市内ワースト一位**で、過去一〇年年間を見ても最多となっている。

これらを踏まえ、守山消防署では過去十年間の火災状況のデータより、**傾向と対策**を以下の通りとりまとめた。

この「春の火災予防運動」に合わせて、改めて**火災予防に留意**してほしい。

### ・こころ火災や放火が増加

住宅火災の火元者は高齢者が多く、建物も一定年数経過しているものが多い。

火災死にあつては就寝中等に、たばこの火の消し忘れや灯油ストーブから出火し、その煙に巻き込まれているものが多い。

住宅用火災警報器は、平成十八年の義務化以前の建物には設置されていない可能性が高い。

### 〔対策〕

・こころ火災に対しては、こころの火が服に着火しないよう**IHや安全装置付**にする。放火火災に対しては、**センサーライト**等で家の周りを明るくし、可燃物を置かないようにする。

・高齢者の方でも使いやすい、**消火スプレー**を設置する。

・寝たばこは絶対にしない。灯油ストーブをエアコンに変える。

・住宅用火災警報器を、**寝室・台所・寝室が二階以上にある場合はその階段**すべてに設置する。設置が難しい場合は、シルバー人材センター等に相談。

(守山区は北部支部・052-883-6200)



**住宅防火**  
いのちを守る  
**10**のポイント  
4つの習慣 + 6つの対策



住宅用火災警報器は**10年**が取替の目安です！ご自宅の住宅用火災警報器の点検をお願いいたします。



〔問い合わせ先〕  
名古屋市守山消防署 予防課  
名古屋市守山区西新11-8  
Tel 052-791-0119



★ホームページはこちら↑★

# 令和4年の守山区の火災傾向から

令和4年の1年間、守山区内で発生した火災件数は49件と令和3年よりも増加しており、市内でもワースト2位。更に火災による被害死者数は4名となっており、市内ワースト1位で、過去10年をみても最多でした。

これらの状況を踏まえ、守山区の火災の傾向と対策を事前に把握し、消防署と一緒に火災が発生しない生活環境にしていきたいと思います。



## ● 火災状況

	名古屋市			守山区		
	R3年	R4年	昨年比	R3年	R4年	昨年比
火災件数	468	508	+40	37	49	+12
住宅火災	176	216	+40	11	21	+10
住宅火災の死者数	9	13	+4	0	4	+4
令和4年の火災原因	1位	2位	3位	1位	2位	3位
住宅火災	たばこ	こんろ	放火	放火	こんろ	たばこ
	こんろ	たばこ	電気機器等	こんろ	電気機器等	たばこ

## ● 火災等の傾向

- ・住宅火災については、大きく減少傾向はみられず、こんろ火災が増加傾向
- ・火元者は60歳以上の高齢の方が居住する住宅からの出火が多い。
- ・火災による死者もさほど減少傾向はみられない。高齢の方や身体不自由者など避難に時間のかかる方が多い。
- ・火災による死者は、就寝時間帯に多く発生している。
- ・住宅用火災警報器が法制化された平成18年6月以前に建設されている一般住宅(一戸建てや共同住宅)での住宅用火災警報器の未設置の可能性が高い。

## ● 対策

- ・「住宅用火災警報器」を台所、寝室、2階以上に寝室のある階段に確実に設置し、設置したら定期的に作動点検
  - ※購入の補助金制度があります。
  - (問い合わせ先)守山区役所福祉課福祉係 TEL:796-4605
  - ※個人での設置が困難な場合は、「名古屋市シルバー人材センター」で設置をしてくれます(有料)。
  - (問い合わせ先)名古屋市シルバー人材センター北部支部 TEL:938-3628
- ・比較的使いやすい「消火スプレー」の設置
- ・石油ストーブやガスコンロなど火を使用する機器を買い替え等のタイミングで、エアコンやIHコンロへの変更
- ・電気器具や電気配線、コンセントにおける清掃や点検の実施



守山消防署

名古屋市守山区西新11-8  
(052)791-0119



★ホームページはこちら